



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 ステラケミファ株式会社
 コード番号 4109 URL <https://www.stella-chemifa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-4707-1512

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,731	△13.9	1,649	△42.9	1,611	△49.6	1,094	△44.7
2019年3月期第3四半期	28,734	14.8	2,887	26.3	3,196	50.8	1,980	37.4

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 568百万円 (△67.7%) 2019年3月期第3四半期 1,759百万円 (27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	84.76	—
2019年3月期第3四半期	153.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	51,061	33,829	64.7	2,559.08
2019年3月期	55,454	33,918	59.2	2,541.77

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 33,046百万円 2019年3月期 32,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	22.00	—		
2020年3月期(予想)				23.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,200	△16.1	2,100	△40.4	2,050	△46.2	1,650	△29.8	127.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	13,213,248 株	2019年3月期	13,213,248 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	299,667 株	2019年3月期	300,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	12,913,330 株	2019年3月期3Q	12,913,061 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、国内における景況感は製造業を中心に慎重な見方が続き、米中貿易摩擦の長期化や、中東情勢をはじめ世界経済の減速に伴う輸出の低迷に加え、国内での相次ぐ自然災害の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第3四半期連結累計期間の業績におきましては、半導体市場が活況であった前年同期に比べ、米中貿易摩擦や韓国に対する輸出管理強化などを背景に半導体液晶部門の輸出販売が減少したことにより、売上高は247億31百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

利益面におきましては、主要原材料の無水フッ酸価格が前年同期に比べ低下したものの、売上高減少の影響により、営業利益は16億49百万円（同42.9%減）となりました。また、原材料購入における為替リスクのヘッジを目的として取り組んでいるデリバティブ取引について、前年同期に計上したデリバティブ評価益3億10百万円が、当第3四半期連結累計期間では16百万円と縮小したことにより、経常利益は16億11百万円（同49.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億94百万円（同44.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて47億46百万円（15.4%）減少し、261億11百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が33億52百万円、受取手形及び売掛金が7億67百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億53百万円（1.4%）増加し、249億50百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が1億73百万円、無形固定資産が79百万円、投資その他の資産が1億円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は510億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億93百万円減少しました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて38億15百万円（30.2%）減少し、88億26百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が9億44百万円、設備関係支払手形が6億27百万円、未払法人税等が11億11百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4億88百万円（5.5%）減少し、84億5百万円となりました。主な要因は、長期借入金7億7百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、172億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億4百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は338億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金が4億16百万円増加し、繰延ヘッジ損益が16百万円、為替換算調整勘定が1億97百万円、非支配株主持分が3億33百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は64.7%（前連結会計年度末は59.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日公表の2020年3月期の通期業績予想を修正しています。

詳細は、2020年2月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,044	10,692
受取手形及び売掛金	9,678	8,911
商品及び製品	2,903	2,608
仕掛品	1,547	1,432
原材料及び貯蔵品	1,732	1,613
その他	970	872
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	30,857	26,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,987	6,538
機械装置及び運搬具（純額）	6,043	5,400
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	2,016	3,169
その他（純額）	1,814	1,925
有形固定資産合計	22,329	22,502
無形固定資産		
その他	565	644
無形固定資産合計	565	644
投資その他の資産		
その他	1,720	1,803
貸倒引当金	△17	—
投資その他の資産合計	1,702	1,803
固定資産合計	24,596	24,950
資産合計	55,454	51,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,012	2,068
短期借入金	1,930	1,950
1年内返済予定の長期借入金	2,281	1,961
未払法人税等	1,186	74
賞与引当金	376	183
その他	3,855	2,588
流動負債合計	12,642	8,826
固定負債		
長期借入金	6,857	6,150
役員退職慰労引当金	561	590
退職給付に係る負債	845	879
資産除去債務	507	503
その他	122	282
固定負債合計	8,893	8,405
負債合計	21,536	17,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	7,152	7,152
利益剰余金	21,098	21,515
自己株式	△496	△495
株主資本合計	32,585	33,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	54
繰延ヘッジ損益	—	△16
為替換算調整勘定	203	6
その他の包括利益累計額合計	236	44
新株予約権	8	28
非支配株主持分	1,088	754
純資産合計	33,918	33,829
負債純資産合計	55,454	51,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	28,734	24,731
売上原価	22,647	19,887
売上総利益	6,087	4,843
販売費及び一般管理費	3,200	3,194
営業利益	2,887	1,649
営業外収益		
デリバティブ評価益	310	16
為替差益	118	—
その他	166	96
営業外収益合計	594	112
営業外費用		
支払利息	26	24
為替差損	—	48
持分法による投資損失	234	34
その他	24	42
営業外費用合計	285	150
経常利益	3,196	1,611
特別利益		
固定資産売却益	13	34
その他	0	0
特別利益合計	14	34
特別損失		
固定資産廃棄損	93	91
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	93	91
税金等調整前四半期純利益	3,117	1,553
法人税等	1,201	757
四半期純利益	1,915	796
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△64	△298
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,980	1,094

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,915	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	21
繰延ヘッジ損益	△6	△16
為替換算調整勘定	△114	△217
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	△14
その他の包括利益合計	△155	△227
四半期包括利益	1,759	568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,843	902
非支配株主に係る四半期包括利益	△83	△333

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上していません。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「その他(純額)」が134百万円増加し、流動負債の「その他」が25百万円および固定負債の「その他」が148百万円増加しています。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。また、利益剰余金の当期首残高は66百万円減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,261	3,325	—	28,587	147	28,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,678	—	2,678	144	2,823
計	25,261	6,004	—	31,265	291	31,557
セグメント利益又は損失(△)	3,008	598	△766	2,840	29	2,870

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,840
「その他」の区分の利益	29
セグメント間取引消去	16
四半期連結損益計算書の営業利益	2,887

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,249	3,293	—	24,542	188	24,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,203	—	2,203	158	2,361
計	21,249	5,496	—	26,745	347	27,092
セグメント利益又は損失(△)	2,008	379	△768	1,619	24	1,643

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,619
「その他」の区分の利益	24
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,649

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。